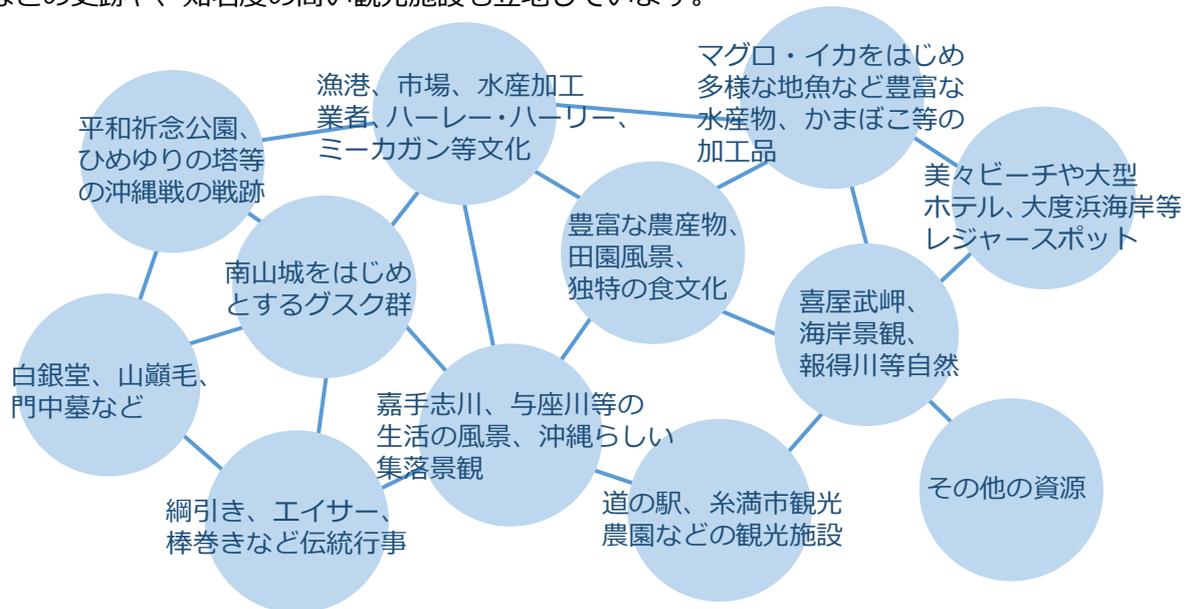


## 第2章 糸満市観光の将来像と目指す方向

### 1 糸満市観光の将来像

糸満市は、平和祈念公園、ひめゆりの塔等の沖縄戦の哀しみや命・平和の尊さを伝える戦跡が多く点在し、平和観光の拠点として戦後から現在に至るまで、多くの来訪者を受け入れてきました。一方で、本市には、「海人のまち」として、第3種漁港である糸満漁港を中心に、糸満市中央市場や水産加工業者が立地し、ハーレー等の海人の生活文化、食文化、芸能が色濃く残っております。農業も古くから盛んで、那覇との地理的接近性を活かした都市近郊型農業が営まれ、豊富な農産物だけでなく、さとうきび畑や電照菊等の沖縄独特の田園風景が見られます。さらに美々ビーチや大度浜海岸等のレジャースポット、喜屋武岬や嘉手志川、与座川などの豊かな自然や生活の風景が多く残されており、琉球王府以前の三山時代に栄えた約40ヶ所のグスク跡(南山城跡や具志川城跡)などの史跡や、知名度の高い観光施設も立地しています。



上位関連計画、観光を取り巻く状況、市民や来訪者等のアンケート結果から導き出されるキーワードとしては、市民の誇りとしての旧暦文化、伝統行事や生活文化があり、漁業のまちの歴史、戦争遺構の活用・平和の発信があります。市民が誇る、糸満市ならではの生活と産業を地域の魅力として価値の再認識を進めるとともに、来訪者にとっての居心地の良さ、また来たいと思わせる雰囲気づくりを進めることが重要であると認識します。

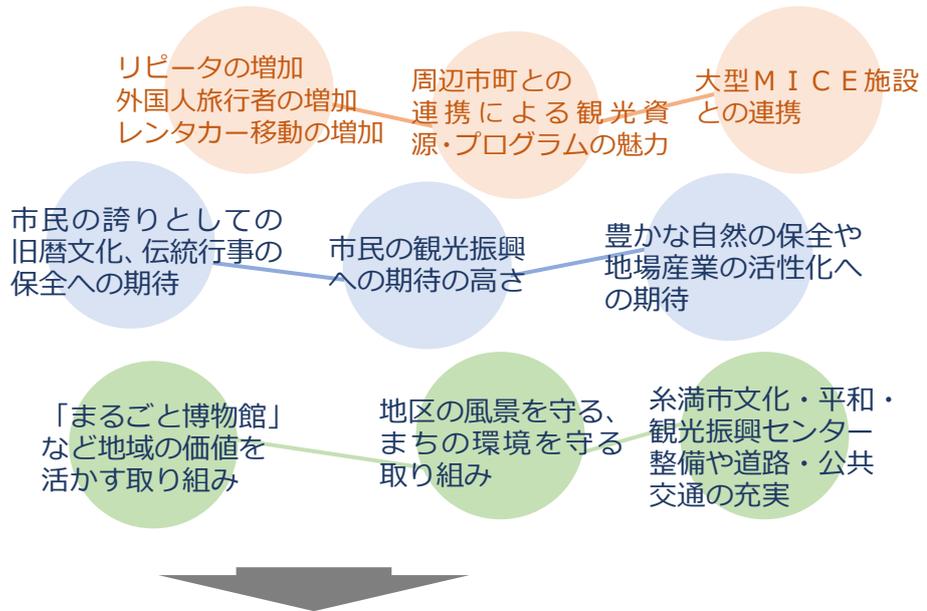
#### 上位関連計画、観光を取り巻く状況、市民や来訪者等のアンケート結果から導き出されるキーワード

地域の資源の保全活用、滞在型観光、まるごと博物館、糸満らしい風景づくり  
戦争遺構の活用、漁業のまちの歴史文化の保全活用、伝統文化・芸術、地域産業振興、平和発信  
糸満市文化・平和・観光振興センターの整備、空港直行バスの運行・市内循環バスの運行  
周辺市町との補完による観光資源・プログラムの魅力化  
大型MICE施設整備による新たな人の流れ  
外国人旅行者の増加に対応  
レンタカー移動者への対応、リピーターを満足させる魅力ある観光プログラムや情報の提供  
2泊～3泊での滞在者に対応したプログラムや効率的な移動手段の確保検討  
市民の観光振興の期待は高い、地域の自然や伝統・文化の保全への期待  
滞在時間は3～4時間から半日程度、再来訪意向を高めることが課題  
市民の誇りとしての旧暦文化、伝統行事

「外的な動向」  
国・県・周辺市町の  
状況からの  
キーワード

「市民や事業者  
の思い」

「進めている各  
種事業」  
糸満市の観光の現  
状、関連計画、各種  
アンケートからの  
キーワード



そこで、市民生活の魅力づくり（まちづくり）と観光誘客（観光振興）を両立させる「観光まちづくり」の推進を考えます。それは、糸満市の資源を劣化させずに、持続的に観光振興を図ることです。そのために、糸満市が誇る固有の風土（自然や歴史文化）と、それを支える人々の営み（産業、生活）を資源として保全・活用します。地域内外の人と人との結びつき、産業間のつながり、地域間のつながりを持つことで、地域全体を観光により活かす（活性化させる）取り組みを展開します。

以上、第4次糸満市総合計画－つながりの豊かなまち－における観光分野での施策目標である「訪れたいまちづくりによる 観光産業の活発なまち」にもとづき、糸満市観光の将来像を以下のように定めます。

## 将来像 風土と人々の営みにふれあえる 結人（ゆいんちゅ）のまち糸満

結人（ゆいんちゅ）は、人と人の結びつきを大事にする人。観光まちづくりを通じて、人と人のつながり、農林水産業や商工業など地域産業のつながりをつくり、地域資源の連携を行うことで、訪れる方に糸満市民が誇る風土と人々の営みにふれる機会をつくりだすことを込めた将来像です。

「第4次糸満市総合計画」  
将来像 「つながりの豊かなまち」  
観光の分野 「働きのつながるまち」

「糸満市観光振興基本計画」  
将来像 風土と人々の営みに  
ふれあえる結人のまち糸満

## 2 基本方針

将来像を実現するために、「地域資源の活用」、「地域産業との連携」、「観光の新たな魅力づくり」、「住民による資源価値の再認識」の4つの目標を定めます。

### ① 地域資源の連携による魅力づくり

**糸満市にある多くの地域資源と連携して、糸満ならではの魅力づくりに取り組みます。**

平和祈念・平和学習を深めることで、戦後70年を経た現在ならではの平和を考える新しい観光のスタイルの構築をはじめ、地域の歴史・生活文化や自然環境など、糸満市が持つ資源・施設を活用した、糸満での魅力的な過ごし方の創造をはかります。また、本市の特色である農水産物を活かした、食の魅力づくりに取り組みます。さらに、糸満市での宿泊客の増加、滞在型観光の展開を目指し、滞在型プログラムの推進と民泊の推進や宿泊施設の魅力向上を推進します。

### ② 地域産業の連携による産業振興

**農林水産業、商業、工業など、従来観光業と一線を画してきた分野においても、地域の魅力的資源として観光との連携を推進することに努めます。**

農林水産業においては、地産地消や体験漁業や体験農業、漁業や農業の風景の活用による新たな産業創出、商工業においては、物産商品販売の拡大や商品のファン獲得、工場見学など新たなメニュー構築を進めます。また、これら地域産業の資源活用による魅力創出として、資源の組み合わせによる体験プログラムによりストーリー性のある、市内の「人」、「もの」、「情報」に触れられる仕組み構築をはかります。

### ③ 糸満市観光の新たな魅力づくり

**これまでの、平和学習や参拝観光のイメージに加え、本市の新たな魅力づくりとその発信、受け入れ環境の改善に取り組みます。**

マーケティングに基づく効果的なプロモーションの実施および体制の構築、交通や情報インフラの充実と観光客の安全対策の実施により、安全安心に楽しめる環境づくりを推進します。また、スポーツツーリズムやMICE観光等、本市の環境や施設の活用により展開可能な新たな観光スタイルの構築に取り組みます。さらに、外国人観光客を含む、多様な方々へのおもてなし環境の改善として、本市観光のユニバーサルデザイン化、南部広域市町との連携による効果的な観光誘客にむけた広域情報の発信や観光資源の補完・連携による広域でのストーリー構築などを推進します。

### ④ 地域住民による資源価値の再認識

**本市に色濃く息づく旧暦文化は、他にはない貴重な生活・歴史・文化です。これらについて、糸満市民がこれまで以上に価値を認識し、それを生活者の視点で観光客に伝える仕組みの充実に努めます。**

地域の伝統行事や生活文化など、住民だからこそ知る地域の価値を観光客が体験できるプログラムやその推進体制の構築、平和ガイド、まち歩きガイドなどのこれまでの取組を一層深化させ、人材育成・発掘の推進、観光協会の体制強化など持続的な観光推進の体制構築、糸満らしい風景づくりや自然環境・景観の保全などに努めます。

### 3 目標数値

基本方針の進捗判断として、4つの指標と目標値（平成36年度）を定めます。

#### 指標① 観光客宿泊者延べ人数

地域資源の連携による魅力づくりの進捗判断として、観光客宿泊者延べ人数を設定します。

指標	実績値（平成26年度）	目標値（平成36年度）	集計方法
糸満市の観光客宿泊者延べ人数	280,951人	420,000人	宿泊施設からの情報にて集計
内外国人	89,057人	130,000人	宿泊施設からの情報にて集計
糸満市内民泊者延べ人数	3,618人	5,400人	観光協会からの情報にて集計

※主要施設・事業所からの情報提供をもとに、延べ宿泊人数を算出します。ただし、大型施設が新たに整備される際には、新たに集計施設として加えます。

#### 指標② 体験プログラムやイベントの参加者数

地域産業の連携による産業振興の進捗判断として、体験プログラムやイベントの参加者数を設定します。

指標	実績値（平成26年度）	目標値（平成36年度）	集計方法
体験プログラムやイベント参加者数	172,626人	200,000人	糸満市および糸満市観光協会からの情報により算出

※糸満市および糸満市観光協会等の主催による体験プログラムやイベントの参加者数を集計して算出します。新規で実施される体験プログラムやイベントについても、集計に加えます。なお、目標値としての設定とは別に、体験プログラム等による観光収入についても別途集計を行うことができるよう、検討を進めます。

#### 指標③ 糸満市の観光に関するウェブサイト閲覧数

糸満観光の新たな魅力づくりの進捗判断として、糸満市の観光に関するウェブサイトの閲覧数を設定します。

指標	実績値（平成26年度）	目標値（平成36年度）	集計方法
糸満市の観光に関するウェブサイト閲覧数	280,905件	420,000件	ウェブサイト管理者からの情報により算出

※糸満市観光サイト（観光ナビ）の閲覧数を集計します。観光協会等でのウェブサイトリニューアル等、ウェブでの情報発信を拡充する際には、当該サイトの閲覧数を加えます。なお、目標値としての設置とは別に、ウェブサイトの他各種メディアでの情報掲載についての一元管理に努めることで、プロモーションの効果測定についても検討を進めます。

#### 指標④ 市民の観光ガイド人材人数

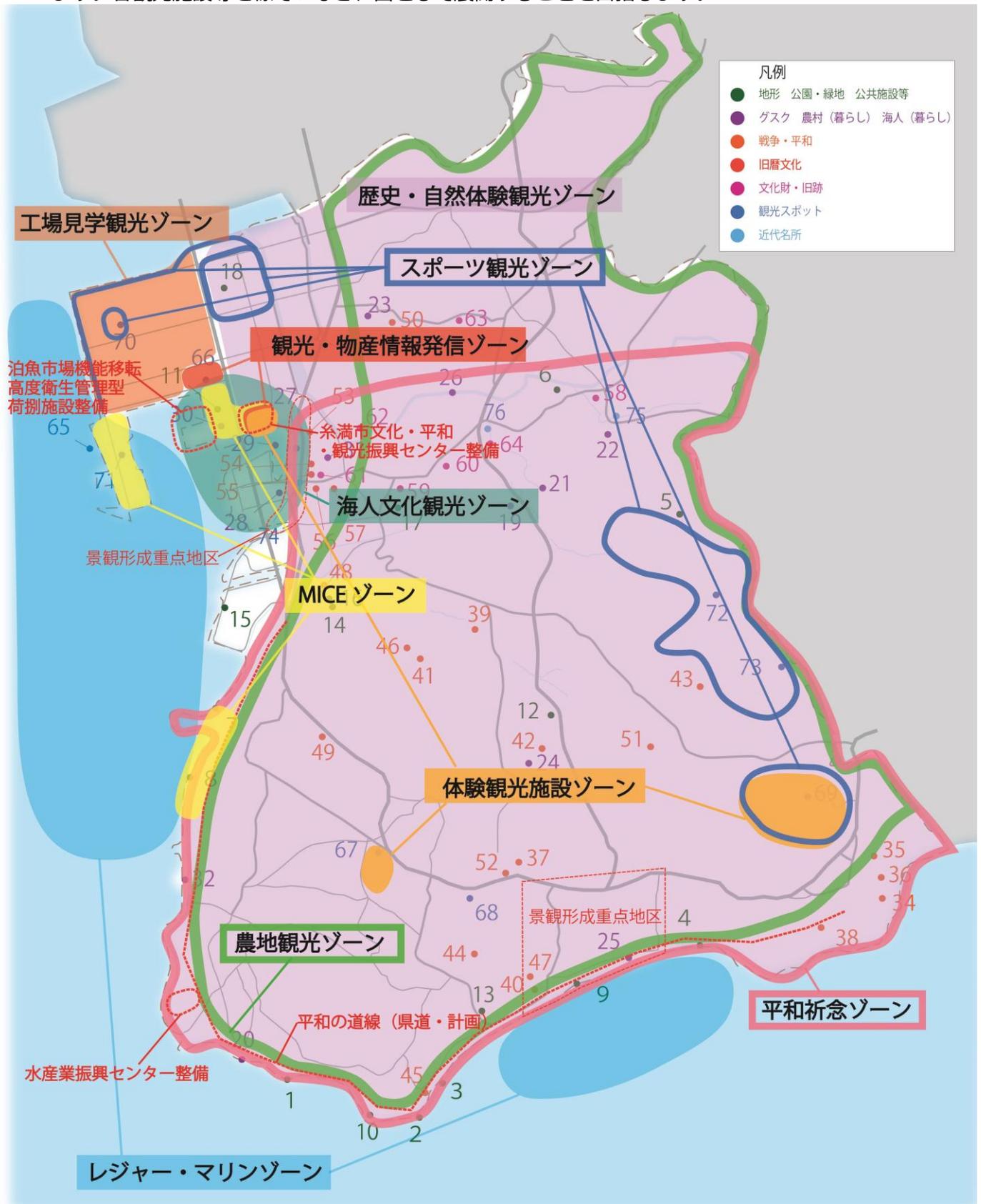
地域住民による資源価値の再認識の進捗判断として、市民の観光ガイド人材人数を設定します。

指標	実績値（平成26年度）	目標値（平成36年度）	集計方法
糸満市の観光ガイド登録人数	27人	40人	観光協会での登録人数

※糸満市で活動する観光ガイドについて、観光協会での登録数を整理します。

## 4 ゾーニング

地域の特性を活かし、周遊性を高めるため市内を各ゾーンに分けて、観光利用の方向性を想定します。各観光施設等を線でつなぎ、面として展開することを目指します。



## 【各ゾーンと施策の方向性】

ゾーン名	施策の方向性	該当箇所
歴史・自然体験観光ゾーン	・歴史・生活文化の活用や自然環境保全活用のプログラム展開を図ります。	市域の一部を除くほぼ全域
平和祈念ゾーン	・平和祈念・平和学習を深める施策の展開を図ります。	戦跡国定公園およびその周辺を含む範囲
農地観光ゾーン	・農業体験、農地・農業の風景を活かした取組の展開を図ります。	埋め立て市街地である西崎町、潮崎町を除く範囲
海人文化観光ゾーン	・海人文化を伝え体験できるプログラムの展開を図ります。 ・水産物の消費を重点的に図るエリアとして展開します。	糸満漁港から、ロータリー、マチグラー周辺の一帯
レジャー・マリンゾーン	・マリンレジャー、マリンスポーツ、ビーチリゾートとしての展開を図ります。	美々ビーチ・北名城・名城ビーチ、米須山城海岸・大度浜海岸およびその周辺海域
スポーツ観光ゾーン	・スポーツツーリズム受け入れやエコスポーツイベントの展開を図ります。	西崎運動公園、糸満市観光農園、ゴルフ場等の範囲
工場見学観光ゾーン	・工場見学等、新たな商・工業観光の展開として体験や物販の充実を図ります。	西崎町の工業地区
観光・物産情報発信ゾーン	・観光情報の拠点となり、市内外の情報発信、案内所としての機能充実を図ります。	道の駅周辺および糸満市文化・平和・観光振興センター予定地
MICE ゾーン	・MICE 受け入れ拠点としての展開、特に中小規模のMICE 受け入れを図ります。	美々ビーチ・サザンビーチホテル&リゾート沖縄周辺、海のふるさと公園周辺および糸満市文化・平和・観光振興センター予定地、名城・北名城ビーチ周辺
体験観光施設ゾーン	・体験型観光の拠点として各施設での体験や、周辺地域、市内各地点での体験の窓口として展開します。	糸満市文化・平和・観光振興センター予定地周辺、琉球ガラス村、糸満市観光農園周辺

## 5 ターゲット

糸満市の観光誘客を図るにあたり、糸満の観光資源の特徴や立地特性から、ターゲットとする顧客イメージを定めた展開が効果的であることから、現在の観光客の動向や志向もふまえて、複数・複合的にターゲットを定め、それぞれに応じたプログラムの魅力化やサービスの向上、プロモーションを図ります。

### ① 観光対象からみたターゲット

- 戦跡での平和学習・参拝観光来訪
  - 琉球ガラス村や糸満市観光農園などの観光施設来訪
  - ジョーグワー周辺のまち歩き・地域の生活体験プログラム参加
  - 農林業体験や漁業体験
  - 糸満市の自然資源の体験
  - 糸満市での飲食・買い物来訪
  - 南山城跡他グスクめぐり等歴史観光来訪
  - 糸満ハーレーや綱引きなど伝統行事見学・参加
  - ビーチやマリンレジャー来訪
  - スポーツキャンプ、MICE来訪
- など、上記の観光対象への関心層をターゲットとして定めます。



### ② 旅行の志向性に応じたターゲット

- 沖縄の文化・風習等への興味関心の深い層
  - ゆっくりとビーチリゾートを楽しみたい層
  - 旅行頻度が高くあまり知られていない穴場を好む層
  - 環境保全に関心があり、保全活動に参加したい層
  - グループでわいわい楽しみたい層
- など、上記の旅行の志向性を持つ方々をターゲットとして定めます。



### ③ 糸満市での滞在スタイルに応じたターゲット

- 糸満市での滞在をじっくりと楽しむ層
  - 糸満市を拠点に（宿泊して）沖縄観光周遊を楽しむ顧客
  - 那覇空港至近であることから、沖縄観光の初日もしくは最終日に訪れる顧客
  - 県内各地から糸満市に訪れる日帰り客
- など、上記の糸満市での滞在スタイルを望む方々に応じたターゲットとして定めます。

## 6 糸満市観光振興基本計画体系

糸満市観光振興基本計画体系を以下に整理します。

将来像

基本方針と目標

施策

